

地理歴史科（世界史B）学習指導案

1 単元 「パレスチナ問題」

2 単元の目標

現在でもなお解決されていない「パレスチナ問題」について考えさせることで、歴史が単なる過去の出来事ではなく、現代や未来につながることに気付かせたい。そのためにまず、パレスチナ問題の前史について確認する。1世紀以降にユダヤ人が世界各地に離散して迫害されたことや、パレスチナ地方が7世紀以降にイスラーム化していくことを把握させる。その一方で、関連する本を1冊読ませ、第1次世界大戦以降の内容を各自で調べさせ、まとめさせる。その取り組みを土台として、班別学習に取り組み、近現代の「パレスチナ問題」について理解させたい。また、調べる、協議する、発表する、質問する、といった取り組みを通して、授業に参加する意識を高め、学習の意義についても考えさせたい。

3 単元の指導計画

(1) パレスチナ問題前史・・・6時間

〔ユダヤ人の離散と迫害（2時間）イスラーム世界の誕生と発展（2時間）
第1次世界大戦～イギリスの三枚舌外交（2時間）〕

(2) 課題指導・・・2時間

レポートの作成方法と書籍の選択（1時間）課題の作成状況を確認（1時間）

(3) 映画を通じた理解（関連する事項の説明を含む）・・・2.5時間

(4) 班別学習・・・11時間

〔班決めと課題の提示（1時間）パレスチナ問題の歴史を班ごとにまとめる（4時間・**本時1/4時間**）
新聞記事と歴史のつながりを考える（2時間）発表準備（2時間）発表と質疑応答（2時間）〕

4 本時の学習目標

1学期中に各自でまとめた課題を班ごとに突き合わせ、内容をまとめる準備をする。それとともに、各々がまとめた際に不足していた点を把握し、教科書・資料集や図書館にある書籍を活用して調べ、より理解できるように班ごとにまとめる。

5 本時の学習計画

	学習活動・学習計画	指導上の留意点
導入 (10分)	①号令・出欠の確認 ②前回の内容について確認 ③ 班長に本時の取り組みを指導 ④書籍の利用について	④書籍の文字を追いやすいようにする文具を各班に配布し資料活用の一助とする。
展開 (35分)	A. 「作業プリント①」の分担 ○役割については、前回の授業において、班長を通じて各班で決めるよう指示している。 ----- B. 歴史をまとめる (1) シオニズムやイギリスの三枚舌外交 (第一次世界大戦前後) ○イギリスの外交がパレスチナ問題の直接の原因となることを把握する。 (2) ナチスによるユダヤ人迫害(第二次世界大戦まで) ○当時の差別意識や極端な国の政策が多くのユダヤ人を死に追いやったことを理解する。 (3) パレスチナ分割案と中東戦争 (第二次世界大戦後～1980年代) ○イスラエル建国によりユダヤ人とアラブ人の対立が戦争に至ることを把握する。 (4) 冷戦の終結とパレスチナ暫定自治協定 (1990年代～) ○冷戦の終結により平和への機運が高まったが、紛争が解決しない現状についても考える。	○作業内容は、班ごとに異なっても良い。 例：(1)～(4)の分業 全員で調べてまとめる ○第一次世界大戦中にイギリスがアラブ人やユダヤ人と約束した内容とその後を中心にまとめさせる。 ○質問された場合は、まとめるスペースが限られているために迫害のすべてではなく、一部分を詳しくまとめる方法も考えられる点を答える。 ○ユダヤ人とアラブ人の対立のみならず米ソの対立や発言力、石油戦略による日本への影響まで触れるとなお良い。 ○イスラエルとPLOとの協定(1993年)による問題解決への動きを取り上げつつ、パレスチナ地方の現状を把握させたい。
まとめ (5分)	①今後の予定について ②書籍の貸出について	①9月下旬に作業プリントの進捗状況を確認し、10月上旬には各班で発表してもらうことを伝えておく。